

2018年6月21日

各位

株式会社フジトランス コーポレーション

北海道の社有林で新入社員が植樹活動

株式会社フジトランス コーポレーション（本社：名古屋市港区、代表取締役社長：系井辰夫）は新入社員研修の一環として、6月19日（火）に北海道にある社有林「フジップの森」で、キハダの苗木70本を植樹しました。

当社は山林を豊かにすることが、山林を源流とする河川、ひいては河川が流れこみ、当社の事業フィールドである海を育むことにつながるという考えのもと、2011年に北海道岩内郡共和町の森林を確保し、「フジップの森」として所有しました。

森林を健康に保つには「植える→育てる→伐る→使う」というサイクルを持続的に行い、長い目で森林を管理する必要があります。そこで、新入社員研修の中で毎年品種を変えて植樹を行い、植樹活動を通して当社の環境保全活動を理解してもらい、自然環境の大切さを学ぶ機会としています。

また、「会社が実践する新たなCSR活動の創出」をテーマにディスカッションも行い、当社が積極的に取り組んでいるCSR活動をさらに拡充するために意見を交わしました。



フジップの森 概要

所在地	北海道岩内郡共和町
面積	1,774,860 m ² (ナゴヤドーム約36個分)
状況	山林
登録日	2011年3月